

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工礦業振興費

事業名【新】岐阜かかみがはら航空宇宙博物館魅力向上事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111（内3765）

E-mail : c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 39,251千円 (現計予算額： 0千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	39,251	12,356	0	0	0	0	887	0	26,008
決定額	39,251	12,356	0	0	0	0	887	0	26,008

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（通称：空宙博（そらはく））は、平成30年3月24日に県と各務原市が共同でリニューアルオープンした国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館であり、平成30年度は43万人、令和元年度は27万人と多くの来館者が訪れていた。
- 新型コロナの影響により令和2年度は約11万人まで来館者が落ち込んだが、翌年度以降は右肩上がりに回復傾向にあり、令和6年度には26万人を達成した。
- 引き続き、展示物の充実、楽しく学べる体験教室や旬なイベントの開催により、空宙博の魅力向上を図るとともに、空宇宙博の魅力を効果的に県内外へ情報発信していくことにより、来館者数の増加、リピーターの確保につなげていく。
- また、県内の航空宇宙分野の人材育成・確保に向け、空宇宙博を活用した企業紹介PR事業を展開していく。

(2) 事業内容

博物館の来館者数の増加、リピーターの確保を図るため、博物館の魅力と認知度の向上に資する事業を実施する。

- 航空宇宙産業の振興（9,055千円）
航空宇宙関連企業の「強み」「こだわり」「魅力」を空宇宙博から発信
- 特別イベントの開催（7,678千円）
宇宙に関する全国レベルの大会、空宇宙博の日イベントを開催
- 展示内容の充実（15,289千円）
海外の連携博物館やJAXAのほか、県内企業から貴重な機体・部品等の借用に加えて、施設及び設備の修繕を実施

4. 観光誘客（2,400千円）
新聞社が発行するフリーぺーパーを活用し、子どもたちに宇宙博や航空宇宙関連企業の魅力を発信
5. 関係機関・団体との連携強化（4,283千円）
海外の連携博物館や宇宙関連機関と連携し、企画展の開催や人事交流を実施
6. 空宇宙博開催行事（546千円）
交流のある企業、大学等と連携したイベントを開催

（3）県負担・補助率の考え方

県と各務原市の共同で博物館を所有し運営しているため、本事業の経費は、原則として県と市が折半して負担する。ただし、県の施策として県が主体的に実施するものは県が全額を負担する。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,408	模型製作コンテスト審査員謝金等
旅費	3,650	費用弁償、業務旅費
需用費	4,916	消耗品費、対外交流費、会議費、印刷製本費、修繕料
役務費	1,244	役務費、保険料
委託料	22,450	業務委託料（各種イベント実施運営委託 等）
使用料及び賃借料	2,355	使用料及び賃借料（展示物レンタル料）
備品購入費	1,691	備品購入費（展示用什器等）
負担金、補助及び交付金	1,537	負担金（各務原市共同事業負担金 等）
合計	39,251	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

令和5年3月に策定した「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）において、3. 地域にあふれる魅力と活力づくりー（2）次世代を見据えた産業の振興ー①産業を支える人材の育成・確保に、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した施策を位置付けている。

（2）事業主体及びその妥当性

各務原市と共同で設置する博物館に関する取組は、同市と共同で行うことが妥当である。

なお、本博物館の運営管理については、県と市が共同で設立した（公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が指定管理者として行う。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度は来館者数50万人を目指すとともに、空宇宙博を活用して本県の航空宇宙産業をPRする。また、空宇宙博の魅力向上を図り、子どもたち（主に小中学生）の航空宇宙への興味・関心を喚起し、将来の同産業を担う人材の育成につなげていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①博物館来館者 数（人）	260,134	500,000	500,000	500,000	500,000	52%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

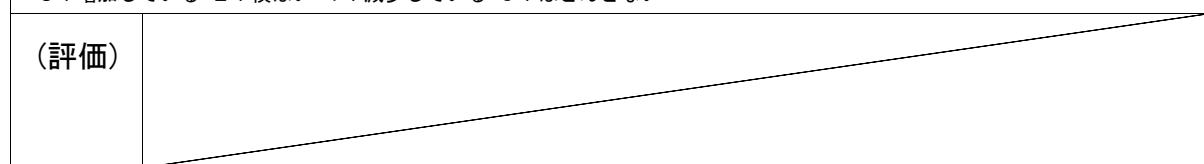
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない



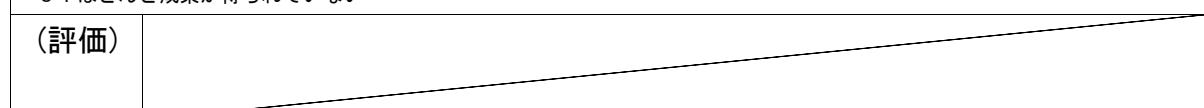
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり

2 : 期待どおりの成果あり

1 : 期待どおりの成果が得られていない

0 : ほとんど成果が得られていない



・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている



(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

国内外からの旅行需要が高まる中、子どもから大人まで、また、知識の有無に関わらず、航空宇宙について楽しく学び、興味・関心が沸く展示やイベントを企画し、空宇宙博の魅力及び認知度の向上を図り、更なる来館者増につなげていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

将来の航空宇宙産業を担う人材の育成・確保のため、子どもたちの航空宇宙への興味・関心を喚起することに加え、空宇宙博を活用した航空宇宙関連企業の紹介P R事業を展開していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

